

松戸市民児協だより

愛の鳩

2025/1

No.67

編集と発行＝松戸市民生委員児童委員協議会

(松戸市役所福祉政策課地域福祉担当室 047-366-3019)

〔年2回発行〕

“絆”ふたたび



本土寺

写真提供・松戸市観光協会

今号の内容

- 令和6年度全体研修会・第74回社会を明るくする運動
・中堅民生委員児童委員研修会
- 部会・連絡会紹介 / 援護部会
- 特集「民生委員・児童委員と地域社会」
- 地区民児協活動紹介
「明第一・明第二・馬橋西・小金南部」
- 広報委員会一日研修
(松戸市リサイクルセンター見学・まちっこプロジェクト)
- 訃報・編集後記

令和6年度全体研修会

令和6年10月3日（木）「森のホール21」大ホールにおいて、全体研修会が開催されました。

冒頭、民生委員在任7年以上の方67名に、松戸市本郷谷市長から感謝状が贈呈されました。本郷谷市長からは、高齢者対象の取り組みとして、包括支援センターの設置や、日常生活の中で助け合う共生社会づくりの推進についてお話がありました。その後、松戸市民生委員児童委員協議会平川会長より、本日の講演内容の説明と講師の紹介がありました。

講演 第1部

「地域共生社会の実現に関する最近の動き」

松戸市福祉長寿部長 松本篤人氏

高齢者人口の増加という状況の中で、住民一人ひとりの暮らしと生きがいや地域とともに創っていく共生社会の実現に向けて、国では

- ① 孤独・孤立対策
- ② 認知症対策
- ③ 子ども・子育て対策
- ④ 住宅確保が困難な人への
住居支援対策

などの制度改革をしています。

講演 第2部

「ヤングケアラー支援」

こども家庭庁 虐待防止対策課
困難包括支援担当補佐 古藤雄一氏

「ヤングケアラー」とは、「家族の介護その他の日常生活上の世話を過度に行っている」と認められる子ども・若者（「子ども・若者育成支援推進法」に新たに明記）のことです。今回法律に明記されたこと、気づきの重要性、実現したい地域の姿などについてお話がありました。社会を変えることができるのは、自治体ごとの取り組みが大きく影響します。そのため民生委員・児童委員の理解と協力は不可欠のことでした。



こども家庭庁HP
(ヤングケアラー)



両講演とも私たちの身近な問題が取り上げられ、地域と共生しながら生活していく大切さを学びました。



市長からの感謝状贈呈
おめでとうございます！

第74回社会を明るくする運動

令和6年7月27日（土）松戸市民会館において、第74回社会を明るくする運動が開催されました。

オープニングセレモニーでは、内閣総理大臣のメッセージ伝達の後、松戸市小玉副市長（市長代理）を始めとして、松戸地区推進委員会各団体の代表の方のご挨拶がありました。



松戸地区推進委員会を代表して
挨拶する、松戸市小玉副市長

続いて、社会を明るくする運動松戸地区作文コンテストの昨年度受賞作、田端美海さん（受賞時・中3）の「言葉を紡ぐ、心を紡ぐ」・湯浅亜美さん（受賞時・中3）の「ごめんなさい」の朗読があり、心を打たれました。

休憩後、千葉大学理事・副学長の後藤弘子氏の「少年犯罪・少年非行に関すること」の講演がありました。「一人ひとりの人間を尊重し、子どもの意見をよく聞くことが大切です」と強調されました。

最後に、金ヶ作
中学校吹奏楽部の
素晴らしい演奏が
披露されました。



中堅民生委員児童委員研修会

令和6年9月20日（金）「森のホール21」大ホールにおいて、中堅民生委員児童委員研修会が開催されました。今年度も、順天堂大学スポーツ健康科学部先任准教授松山毅氏による「子どもを取り巻く環境と民生委員・児童委員活動」の講演がありました。

民生委員にとって、子どもや子育て世代へのかかわりは難しいものがあります。そこで「どんな方法があるか」とともに、「子どもや子育て世帯の現状・課題は何か」を見ていくことで、地域の課題に即した活動へのヒントを得ることができました。

後半では、柏市主任児童委員の少路香子氏・流山市地区民児協会長の横山章子氏に続いて、松戸市からは、明第三地区民児協会会長の五十嵐義秀氏による実践報告がありました。

各地区の取り組みに工夫があり、とても参考になりました。今後の民生委員・児童委員活動に生かしていきたいと思っています。

「障がい者への支援活動」をめざして

部会・連絡会紹介

援 護 部 会

援護部会の運営

援護部会は地区民児協の活動現場において、障がい者あるいは保護者から相談を受けた時的に確かなアドバイスができるようにさまざまな経験を積む活動をしています。

援護部会は障がい者について学び、理解することを軸としています。
一概に障がい者といっても多岐にわたり、身体的・機能障害や精神・心の病など実体の把握はかなり難しいと言えます。
私たちの活動は、施設やサービス内容、入居条件などの情報収集や、接し方に関する知識の習得に努め、それらを地区民児協にフィードバックし、地区民児協の日々の活動に役立てることを目標にしています。



援護部会長
小川博章
(新松戸地区)

援護部会の活動

活動にあたっては、18地区の援護部会の代表（役員4名を除く）をA・B・Cの3グループに分け、グループごとに具体的な計画をたてる体制としました。

現体制の1年目の令和5年度は、援護部会の経験がない委員が大半だったこともあり、基本的な知識を学ぶために講演会や施設見学を実施しました。2年目の令和6年度は、各グループの「もっと知りたいテーマ」に絞った研修・講演会の実施などに取り組んでいます。
最終年度の令和7年度は、「2年間の経験や習得した知識を地区民児協の活動に生かす」を目標に、委員同士の情報交換や交流をさらに深めていきたいと思っています。



(写真右) 定例会風景
(写真下) 部会員集合



活 動 実 績 ・ 計 画

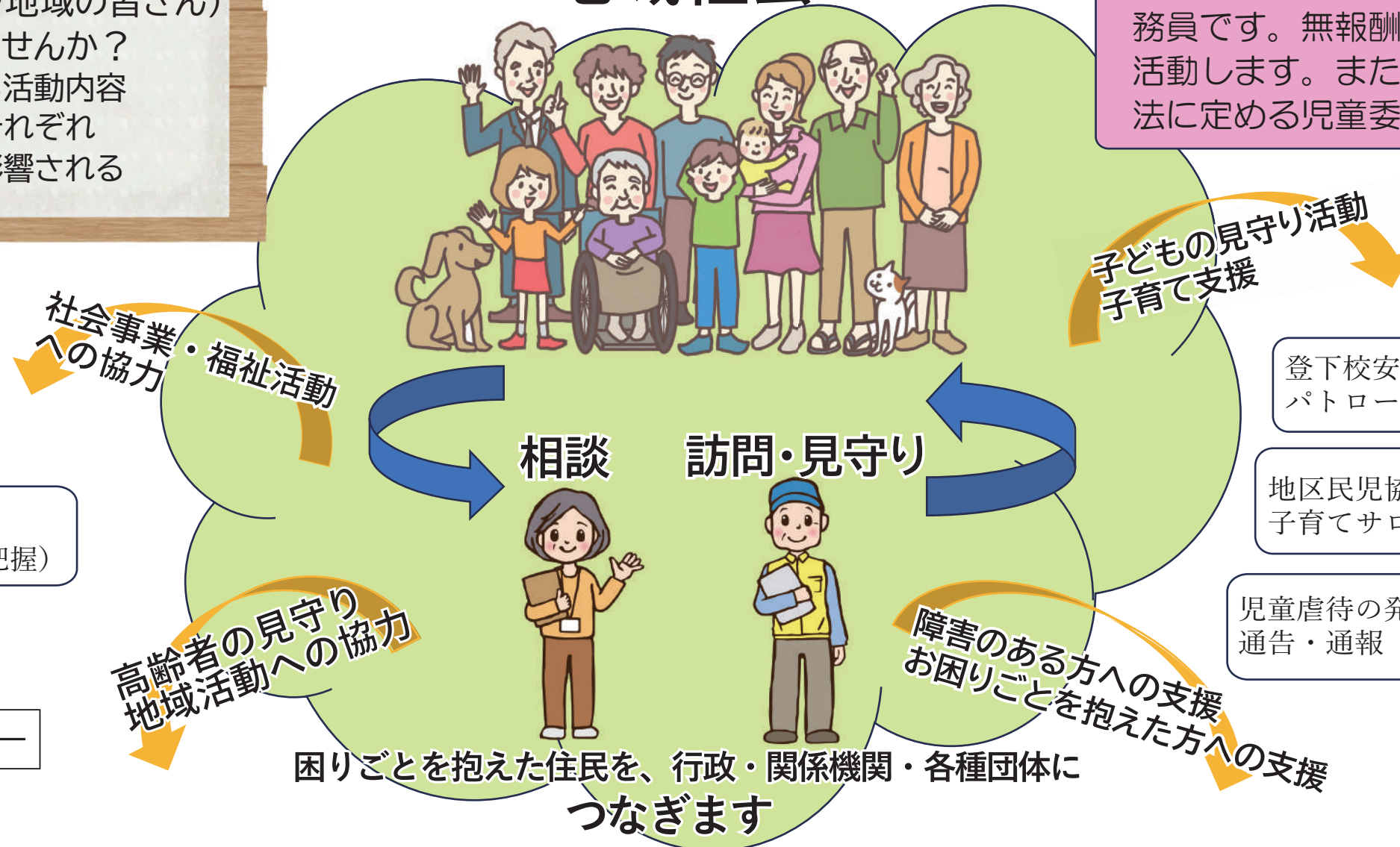
令和5年度事業	5月19日	講演会「障害者福祉について」講師:障害福祉課 社会福祉士 豊永栽源氏
	7月21日	講演会「障害者の権利擁護について」講師:障害福祉課 近藤真帆氏
	9月15日	各地区の活動報告(情報交換)
	1月17日	施設見学「松ぼっくり」・「ふれあい22」
	1月19日	各地区の見学研修の報告(情報交換)
	3月15日	次年度事業計画・予算策定
令和6年度事業	5月17日	手話勉強会「松戸市ろうあ協会」会長 関口光男氏、手話対策部長 吉田真弓氏
	7月19日	講演会「障害の方の生活を支えるグループホームについて」障害者等グループホーム支援ワーカー 小林義典氏
	9月20日	関連部署紹介「松戸市就労準備支援室」現場責任者 支援員 阿部由紀子氏
	11月17日	施設見学「太田デイトレセンター」
	1月17日	講演会「こどもの発達障害について」障害者等グループホーム支援ワーカー 小林義典氏
	3月21日	次年度事業計画・予算策定

民生委員・児童委員と地域社会

ご自身の活動について周囲の方(ご家族や地域の皆さん)に説明してみませんか？

- ・多岐にわたる活動内容
- ・活動は委員それぞれ
- ・地域性にも影響される

民生委員は、民生委員法に基づき、厚生労働大臣から委嘱された非常勤の地方公務員です。無報酬のボランティアとして活動します。また、民生委員は児童福祉法に定める児童委員を兼ねます。



社会福祉協議会 (市社協・地区社協)

子育てサロン
(事業協力)

福祉相談員

ふれあい会食会
(事業協力・独居世帯把握)

生活福祉資金貸付
(相談支援)

災害ボランティアセンター

町会・自治会・
子ども会・防犯協会

防犯パトロール

市民運動会

茶話会・ゴミ出し支援

「まつどDEつながるステーション」

地域包括支援センター

高齢者支援連絡会

高齢者福祉施設・サービス事業者

学校(小・中・高他)・幼稚園・保育所

放課後児童
クラブ(学童)

児童発達支援・
放課後等デイ
サービス

登下校安全
パトロール

地区民児協
子育てサロン

児童虐待の発見
通告・通報

おやこ DE 広場

児童福祉館・
こども館

児童相談所

こども食堂

ふれあい22
(こども発達センター・
障害者福祉センター)

基幹相談支援センター

中核地域生活支援センター

障害者福祉施設・
サービス事業者

中高生の居場所

社会を明るくする運動

各種NPO

松戸市 : 高齢者支援課・地域包括ケア推進課・生活支援課・子ども未来応援課・こども家庭センター・保育課・障害福祉課・福祉政策課他

公的制度への協力

- 生活保護制度への協力(申請者への聞き取り)
- 介護予防把握事業(ハイリスクアプローチ)への協力
- 児童扶養手当申請(申立書)
- 災害時避難行動要支援者名簿登録への協力

※広報委員のひとりから、「自分の民生委員としての活動を家族にうまく説明するにはどうしたらよいだろうか?」という意見が出たことがきっかけです。今回この図は、民生委員・児童委員の活動を周囲の方に理解してもらうためのツールとして作成しました。

活動紹介

明第一地区民児協

会長名…山内 幸子 直近の委員数…27名
 キャッチフレーズ…「常に明るく わきあいあい」
 町会・自治会…12町会 11自治会
 小・中学校…市立小学校3校 市立中学校1校
 大学…聖徳大学
 施設等…松戸市役所 勤労会館 中央公園
 地区定例会…毎月第2月曜日 開始時間19:00



手作り料理の
ふれあい会食会

松戸駅北側一部と、東口側松戸市役所周辺と胡録台、大畑、6号線コジマ付近までが担当になります。地域内には松戸市役所、聖徳大学、裁判所、法務局などがあります。委員の約3分の2が仕事を携えていることから定例会は夜の開催となりました。限られた時間で充実できるよう工夫しています。地区社協と連携の「ふれあい会食会」は、昨今手作りが難しくなっておりますが、民生委員とボランティアの方々の奮闘で継続しており、参加者大変喜んでいただいております。



地区定例会

また、子育て支援の「明ワンスリースリー」も長きにわたって開催されています。先日、水道管の破裂事故が発生した際には、複数の委員が素早く地域の高齢者に連絡を入れ、さらには戸別訪問とともに飲料水を配布するなど、きめ細やかな支援に取り組みました。これからも、地域の皆様に少しでも安心を届けられるよう気遣っていききたいと思っております。

明第二地区民児協

会長名…梅本 みな子 直近の委員数…32名
 キャッチフレーズ…「和を以て 心をつなぐ 地域の安心」
 町会・自治会…19町会 7自治会
 小・中学校…市立小学校5校 市立中学校3校
 施設等…榎台市民センター 明第一地域包括支援センター
 およこDE広場みのり台「ひだまり」 野菊野こども館
 松戸南部市場 消防局中央消防署
 地区定例会…毎月第2土曜日 開始時間14:00

今年度から地区の定例会開催を毎月第1火曜の夜から第2土曜の昼間に変えました。また各委員の席を、所属部会やグループ単位で囲む形に変えることで、意見や情報の交換がより充実するようになりました。



明第二地区の顔ぶれ



定例会では部会ごとに
活発な議論が…

7月の定例会後は各部会会議の枠を「勉強会」とし、葬儀関連の仕事をしている委員を講師として「終活・エンディングノート」の話をしてもらいました。活発な質問もあり大変参考になりました。仕事と両立している委員も多く、ラインを活用し情報の周知を図っています。また、コロナ禍で始めた地区広報誌「ミツバチ通信」は地域の情報満載で皆様に喜ばれています。

地区民児協

馬橋西地区民児協

会長名…吉岡 寛利 直近の委員数…22名
 キャッチフレーズ…「あいさつの 笑顔がつくる 福祉の輪」
 町会・自治会…14町会 1自治会 1管理組合
 小・中学校…市立小学校5校 市立中学校2校
 高校…県立馬橋高等学校
 施設等…馬橋市民センター 市民プール 青少年会館
 地区定例会…毎月第2金曜日 開始時間10…00

JR馬橋駅西口から江戸川までの地区を担当しています。駅周辺は商業施設や新興住宅になっており、江戸川に近い地域は農業地帯が多くみられます。

コロナ禍で中止していた各小中学校、高等学校との懇談会も始まりました。担当委員による、夏休み期間中の防犯パトロールなど地域連携に力を注いでいます。

当地区では毎年2回、8月と12月に安否確認訪問を行っています。



研修
「千葉県西部防災センター」



最大風速 30m/秒の
風水害の体験

ます。この夏も猛暑での熱中症予防啓発として飲み物を配布しながら、一人暮らしの高齢者300名以上に対して安否確認訪問を実施しました。

地域の町会・自治会との情報交換を進めるため、毎年町会長・自治会長との懇談会を開催しています。これからもそれぞれの委員が、地域の行政や地区社協と連携し、より良い活動を心がけていきたいです。

小金南部地区民児協

会長名…塩澤 涼子 直近の委員数…24名
 キャッチフレーズ…
 「声掛け 見守り 支え合い 心寄せ合う小金の街を」
 町会・自治会…14町会 4自治会
 小・中学校…市立小学校4校 市立中学校2校
 施設等…小金支所 小金保健福祉センター 小金市民センター
 小金基幹相談支援センターおんぷ
 地区定例会…毎月第2土曜日 開始時間13…30

JR北小金駅南側の旧水戸街道を中心とした、歴史ある宿場町として栄えた地域です。古くからの家々も多く、高齢化の進んでいる地域でもあります。

当民児協では、地域の見守り活動とともに地区社協との連携として、高齢者対象の「ふれあい会食会」、「あじさいサロン」、「街カフェ」や、親子対象の「子育てサロンかるがも」などに協力しています。地域交流の場として「ふれあい広場」などへも支援を行っています。

近年それぞれ参加者も増え、活動にやりがいを感じています。



研修 「避難所 HUG」



研修 「松戸キャラバン隊 たねっこ」

さらに10月には小金地区社協作成の「救急医療情報安心キット」を見守り対象者約160名に配布。「こんなのが欲しかった」と大変喜ばれました。

また、今期は研修活動にも力を入れてきました。さまざまな活動を通し、委員同士のつながりも密になり、何事にも積極的に取り組む姿が頼もしく感じられるようになりました。これからも力を合わせて民生委員活動に取り組んでいきたいと思っています。

広報委員会 一日研修

広報委員会では令和6年8月2日に、松戸市リサイクルセンターの見学と、和座一弘先生による「まちっこプロジェクト」の研修を行いました。

1 松戸市リサイクルセンター

七右衛門新田にある松戸市リサイクルセンターは、令和4年7月に完成し、粗大ごみ・不燃ごみおよび有害ごみなどを一施設で処理しています。

●松戸市のごみ処理について

(松戸市環境部廃棄物対策課)

「減らそうごみ」の説明

- ①ごみの処理状況について
- *現在、市内で処理できないごみを近隣市等に依頼して焼却している
- *最終処分場（焼却灰や燃やせないごみの埋立地・秋田県小坂町など）には限界がある
- *ごみ処理費用は令和4年度で約64億円、市民1人当たり約1万3千円

②リサイクルできるプラスチック

ごみの分別

*その他のプラスチックなどのごみに混入させない

③雑がみの分別

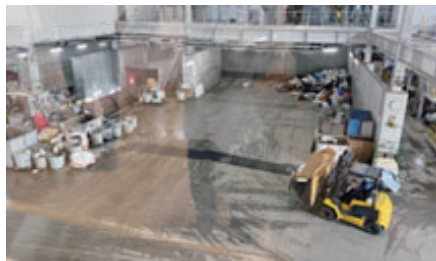
*必ず資源ごみとして出す

④食品ロスの削減

*無駄に捨てる食品を減らす



松戸市ごみ減らしシンボルキャラクター クリンクルちゃん



「受け入れヤード」の様子

注意しよう！

発火事故を防ぐため、**リチウムイオン電池**等を混入させない
(取り外せる場合は回収協力店へ、取り外せない場合は有害ごみで)

2 まちっこプロジェクト



和座一弘先生

和座先生は、馬橋で20年以上、プライマリケアを実践され、「かかりつけ医」として日々地域医療に携わられておられます。今回、「まちっこプロジェクト」〜子どもの力で地域はもっとつながり合える〜について講演をお願いしました。このプロジェクトは、和座先生をはじめとする5人のメンバーで始められた松戸医師会による小中学生向け授業です。

●「まちっこプロジェクト」のねらい

- ①健康とは自ら守り育むもので、知識や行動が必要
- ②自分や家族の重大事を決めるために、日頃から家族内で相談を積み重ねておく
- ③地域社会における地縁など、コミュニティでのつながりを深める
- ④命や家族の健康について相談することのできる「かかりつけ医」をもつ

●多職種協働

- ①学校・教育委員会との協働（学校との調整、授業内容の検討）
- ②グループワーク型授業での多職種

連携（看護師・ケアマネ・地域包括職員・民生委員ほか）

●プロジェクトの意義

- ①医療についての正しい知識を子どもたちに伝える
 - ②子どもたちは学んだことを大人たちに教え、家族で「人生会議」を開き話し合う機会ができる
 - ③子どもたち自身の力で社会を変えていくことを自覚できる
 - ④子どもたちの幸せ感を高める（日本の子どもの幸福感がとても弱い）
- 和座先生からは、「民生委員の皆様さんぜひ、協力者としてプロジェクトに加わって欲しい」とのお話がありました。

【計報】

謹んでお悔やみ申し上げます
田中 稔男様 享年76歳
令和6年8月15日（五香地区）

編集後記

コロナのため自粛していた民生委員の活動も本来の動きを取り戻しつつあります。新たな気持ちで「絆ふたたび」を胸に福祉の道に邁進したいと思います。これからもご愛読をお願いいたします。（広報4班・三原）

「愛の小鳩」67号

発行日 令和7年1月1日

発行責任者 松戸市民生委員児童委員協議会

平川 茂光